

4. 回答者の幸福感

問11 幸福度について、あなたの状況に最も近い番号を選んでください。

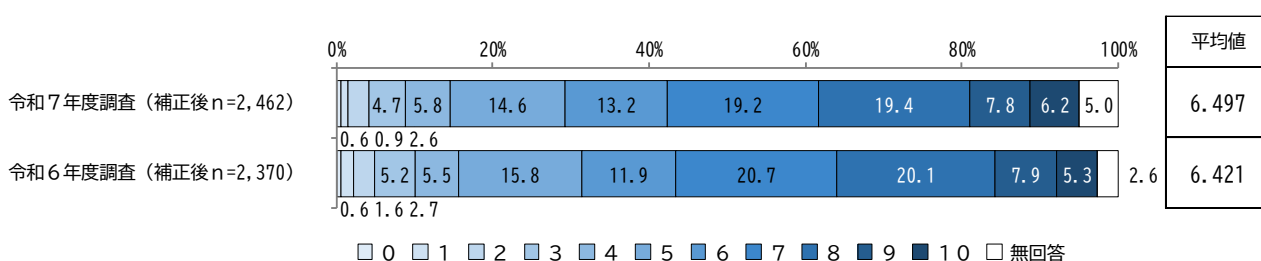
11-1	考え得る最良の人生と最悪の人生があるとして、あなたの人生は現在どの位置にありますか。あなたの実感に近い数字を1つ選んでください。	○は1つ
------	--	------

令和7年度の幸福度の平均値が、令和6年度より高くなっています。

現在の幸福度について、「8点」の割合が19.4%と最も高く、次いで「7点」が19.2%、「5点」が14.6%となっています。

また、令和6年度大和市民の幸福度に関する意識調査と比較すると、平均値6.421から平均値6.497と上昇しています。

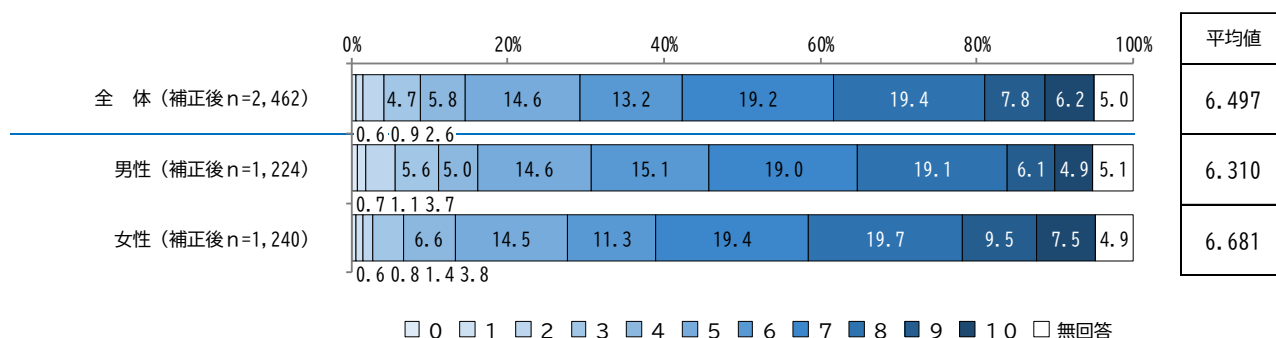
図表 11-1-1 現在の幸福度（経年比較）



11-1 × 性別

性別でみると、「男性」は平均値6.310、「女性」は平均値6.681で、女性のほうが高くなっています。

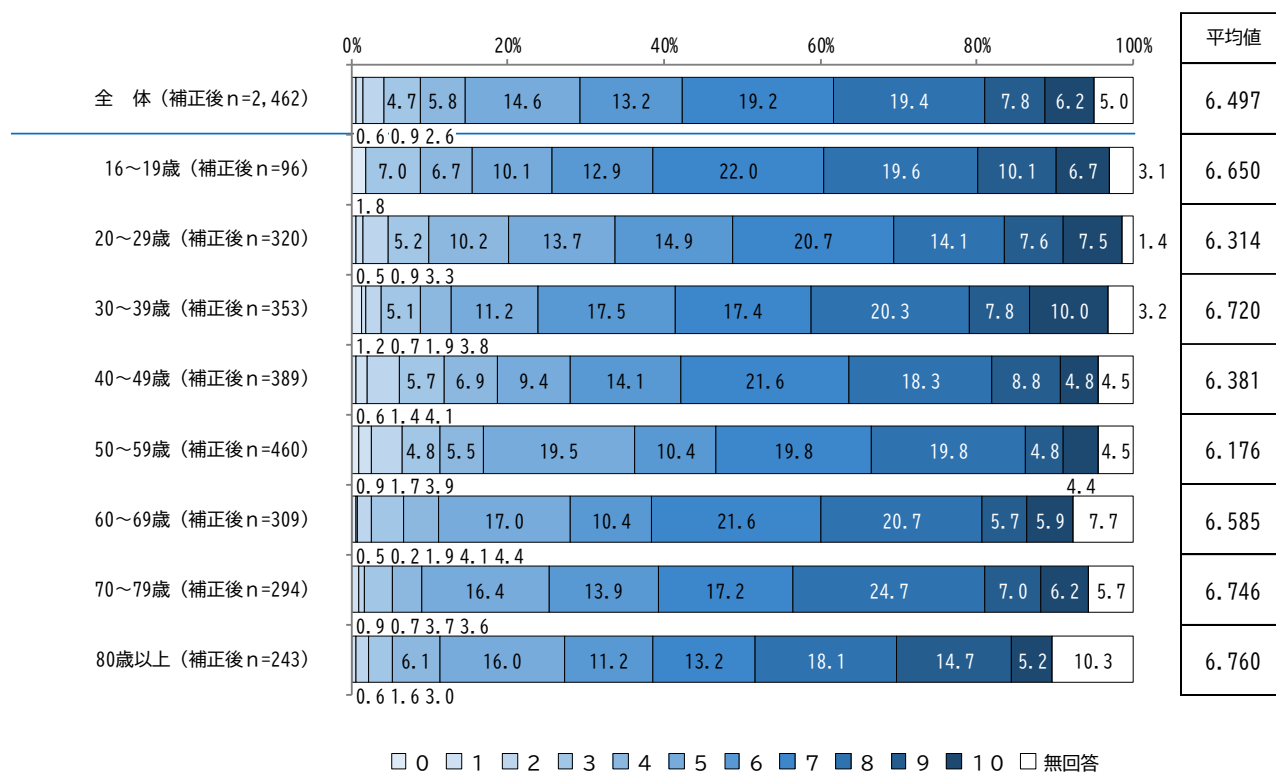
図表 11-1-2 現在の幸福度 × 性別



■ 11-1×年齢

年齢別でみると、「80 歳以上」が平均値 6.760 と最も高く、次いで「70～79 歳」で平均値 6.746、「30～39 歳」で平均値 6.720 となっています。

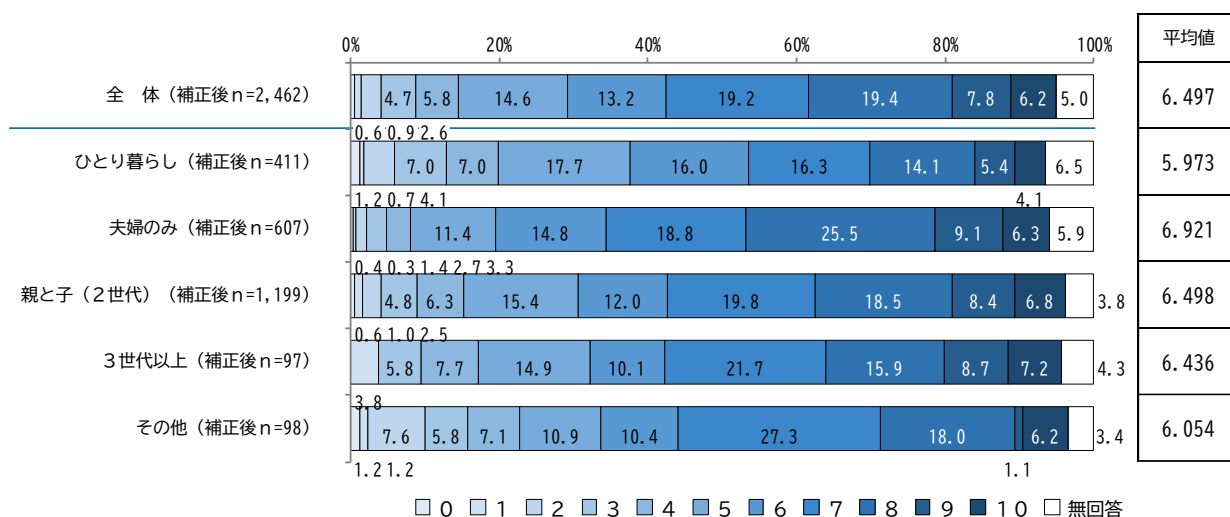
図表 11-1-3 現在の幸福度×年齢



■ 11-1 × 家族構成

家族構成別でみると、「夫婦のみ」が平均値 6.921 と最も高く、次いで「親と子（2世代）」で平均値 6.498、「3世代以上」で平均値 6.436 となっています。

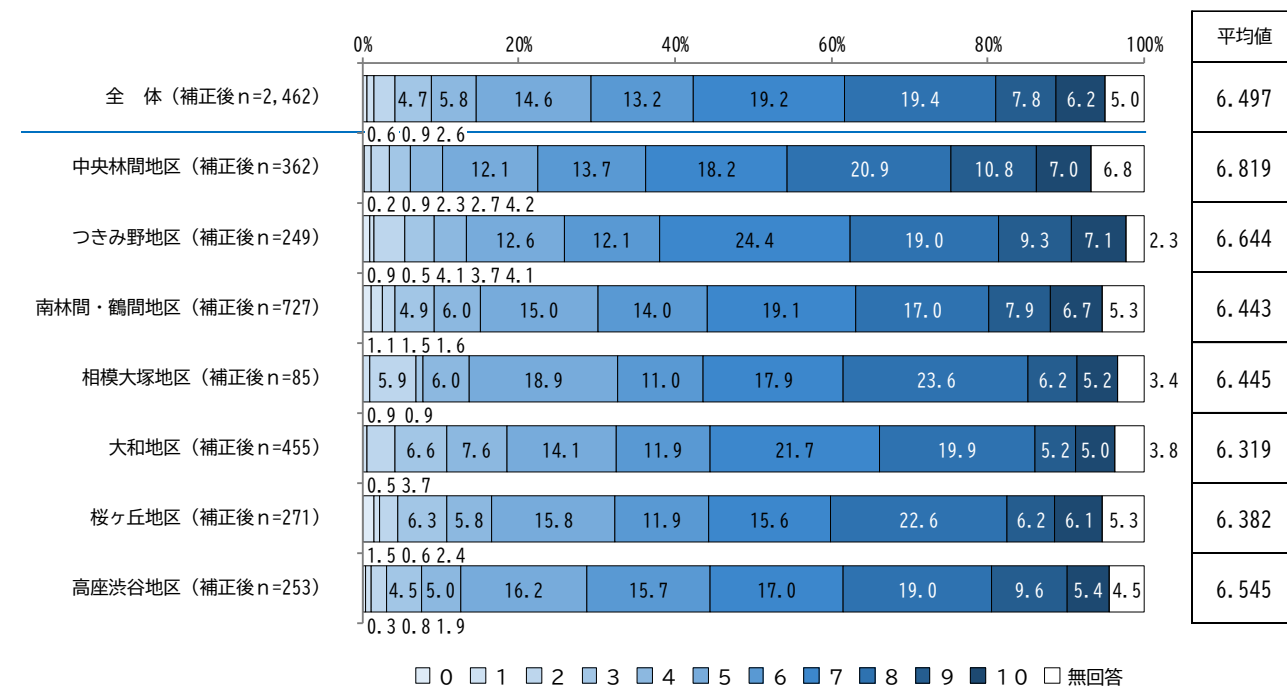
図表 11-1-4 現在の幸福度×家族構成



■ 11-1 × 居住地域

居住地域別でみると、「中央林間地区」が平均値 6.819 と最も高く、次いで「つきみ野地区」で平均値 6.644、「高座渋谷地区」で平均値 6.545 となっています。

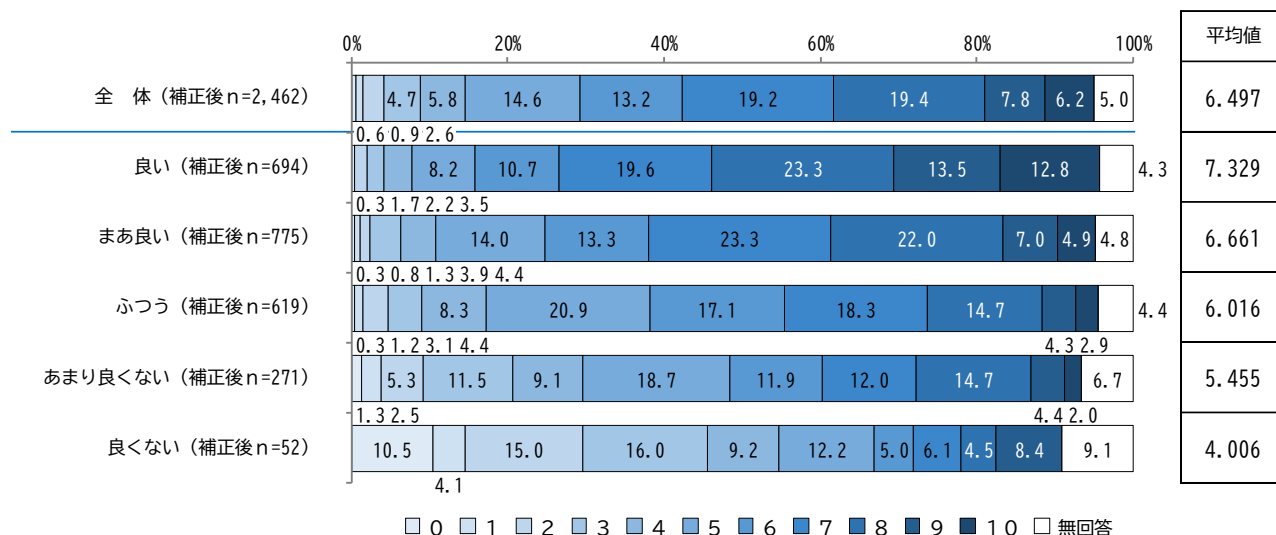
図表 11-1-5 現在の幸福度×居住地域



■ 11-1 × 健康状態

健康状態別でみると、「良い」が平均値 7.329 と最も高く、次いで「まあ良い」で平均値 6.661、「ふつう」で平均値 6.016 となっています。

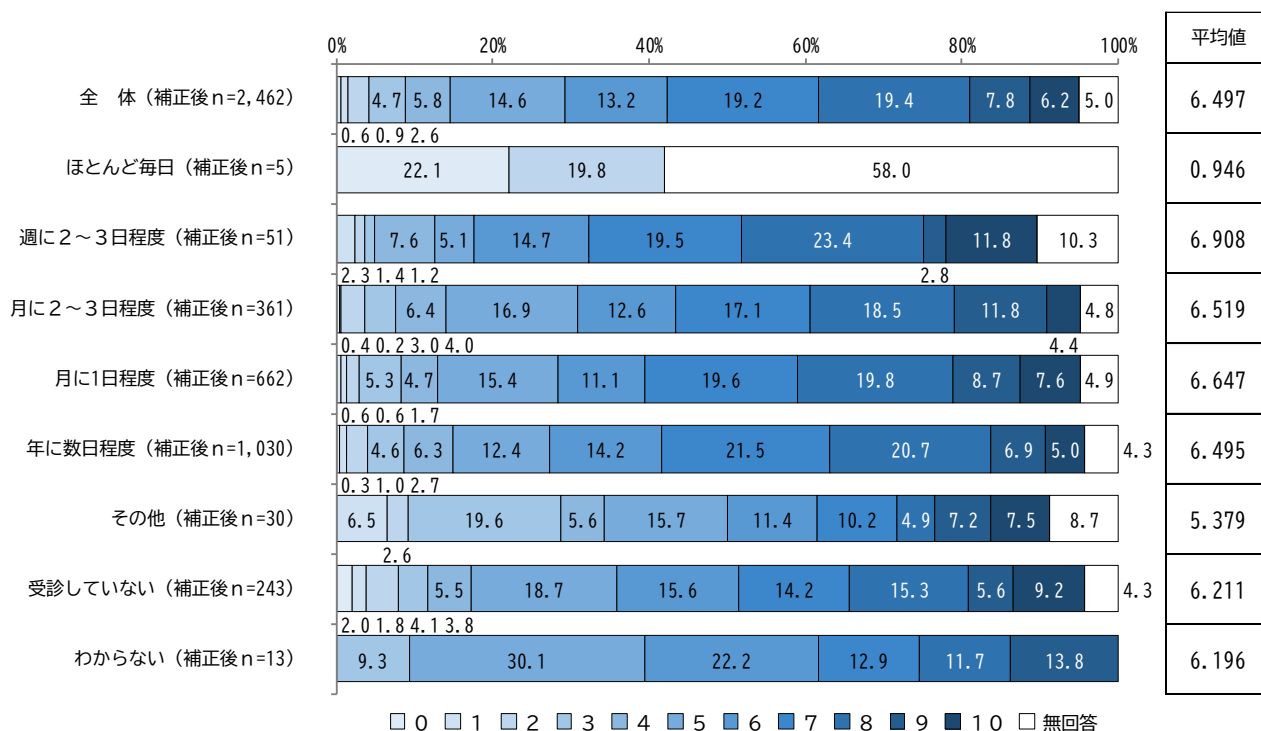
図表 11-1-6 現在の幸福度 × 健康状態



■ 11-1 × 医療機関受診頻度

医療機関受診頻度別でみると、「週に 2～3 日程度」が平均値 6.908 と最も高く、次いで「月に 1 日程度」で平均値 6.647、「月に 2～3 日程度」で平均値 6.519 となっています。

図表 11-1-7 現在の幸福度 × 医療機関受診頻度

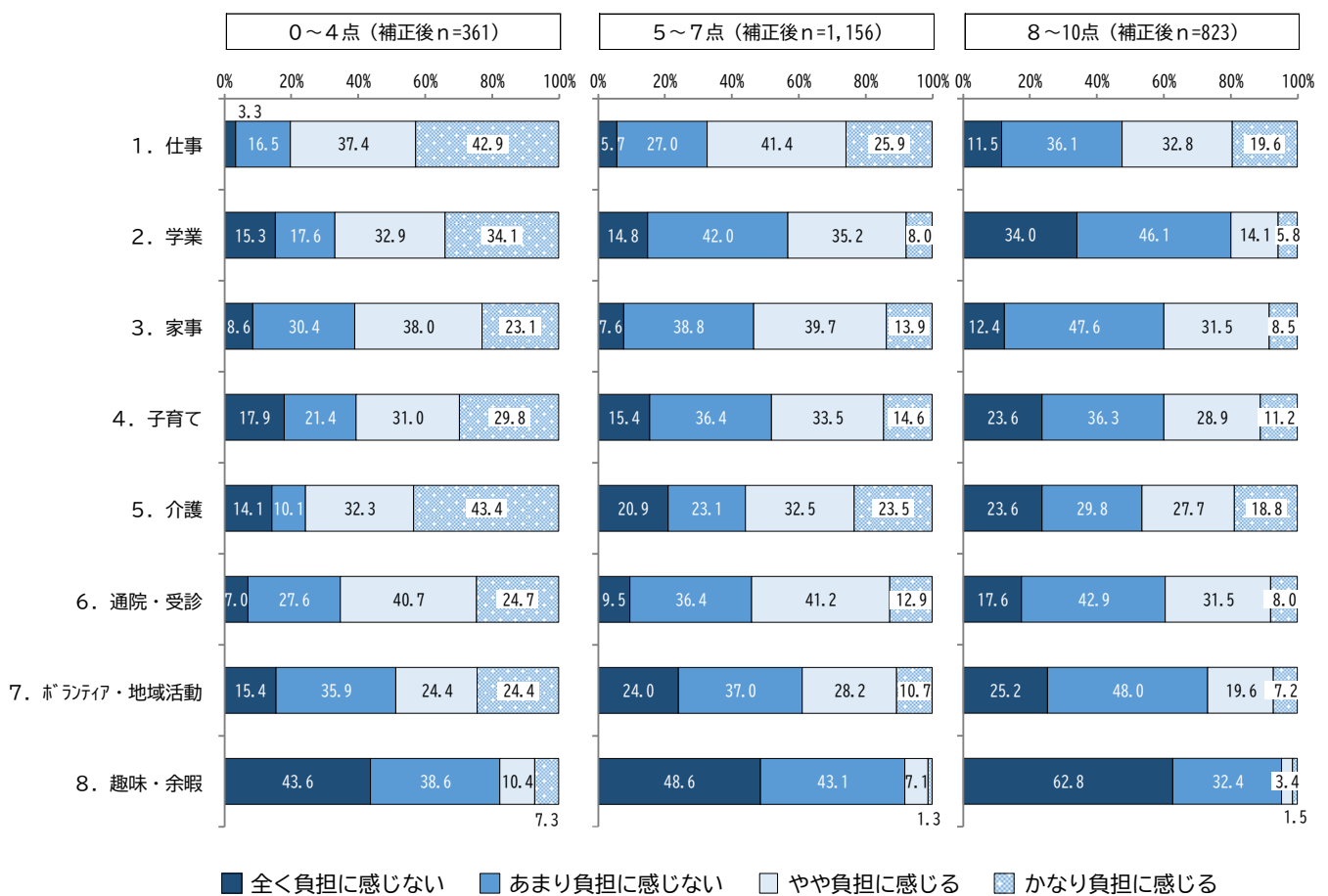


各行動の負担度において、幸福度が低いほど負担度が高い傾向にあります。

幸福度×各行動の負担度

日々の生活における各行動の負担度について、幸福度が0～4点ではすべての行動において「かなり負担に感じる」が高い傾向にあり、幸福度が8～10点ではすべての行動において「全く負担に感じない」が高い傾向にあります。

図表 11-2-1 幸福度×各行動の負担度

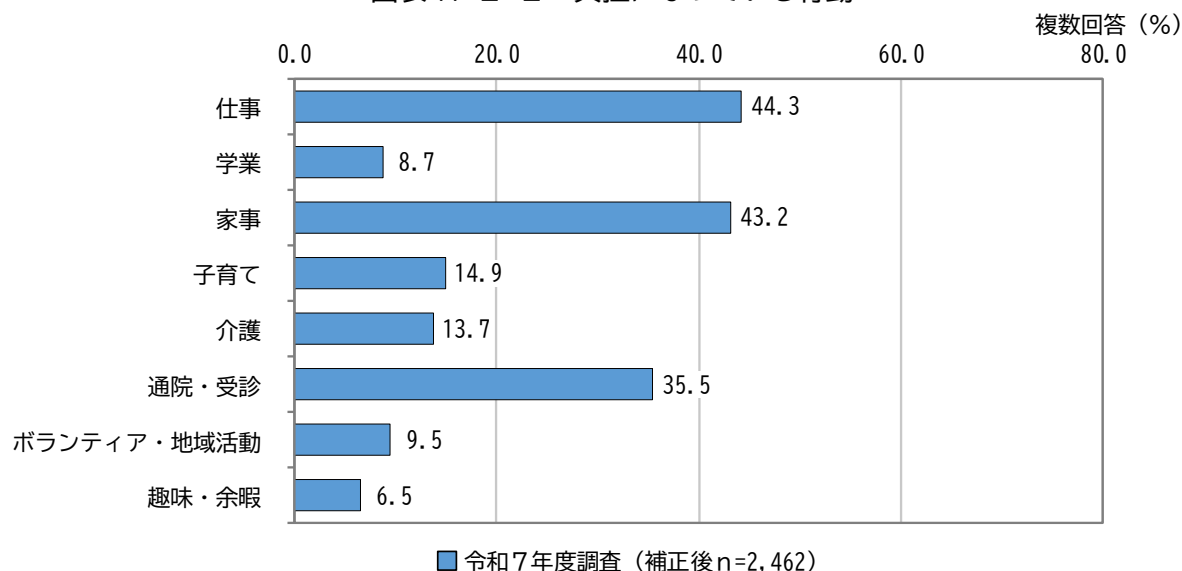


※ 補正後のn値から「該当なし」と無回答を除いた数値で集計しています。

負担になっている行動（全体）

負担になっている行動について、「1. 仕事」の割合が44.3%と最も高く、次いで「3. 家事」の割合が43.2%、「6. 通院・受診」の割合が35.5%となっています。

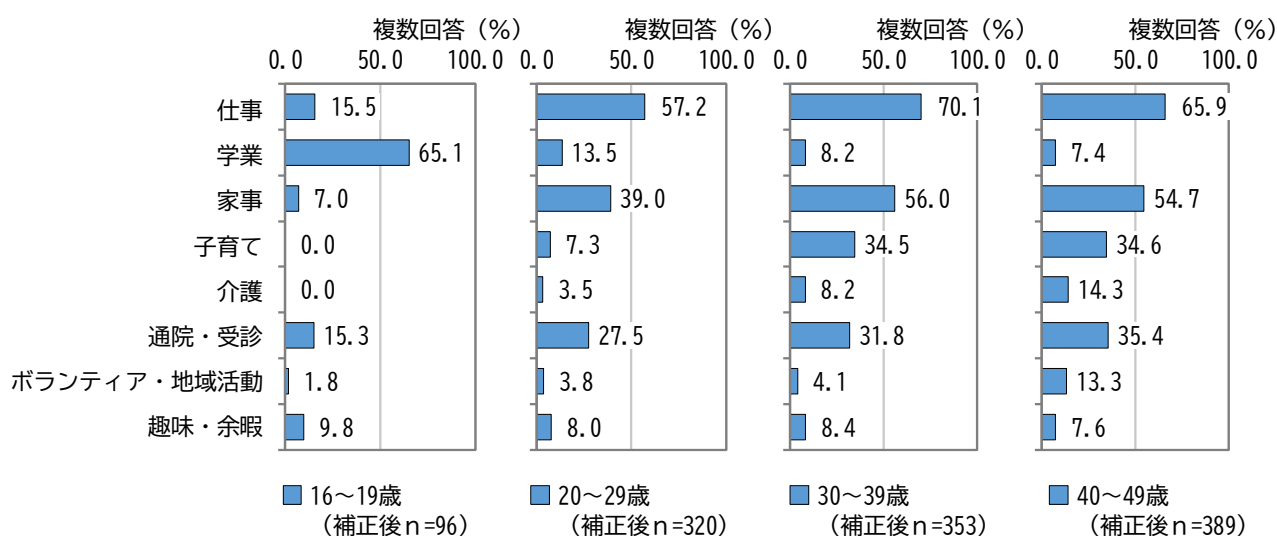
図表 11-2-2 負担になっている行動



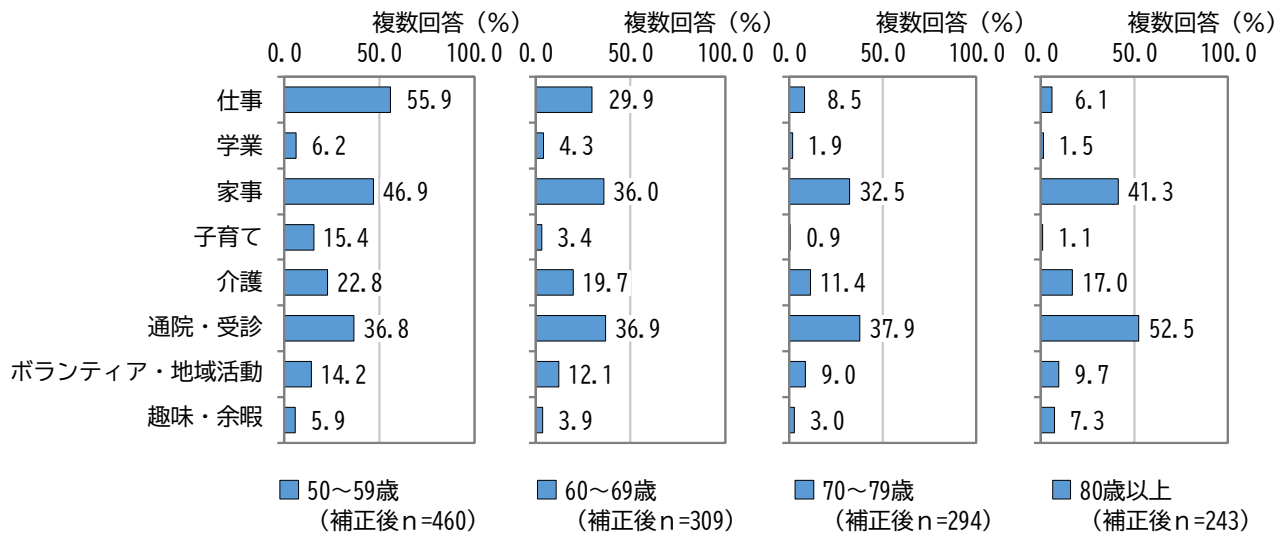
11-2（全体）×年齢

年齢別でみると、年齢が上がるほど「通院・受診」の割合が高くなっています。また、16～19歳で「学業」、30～39歳、40～49歳で「家事」「子育て」の割合が高くなっています。

図表 11-2-3 負担になっている行動×年齢



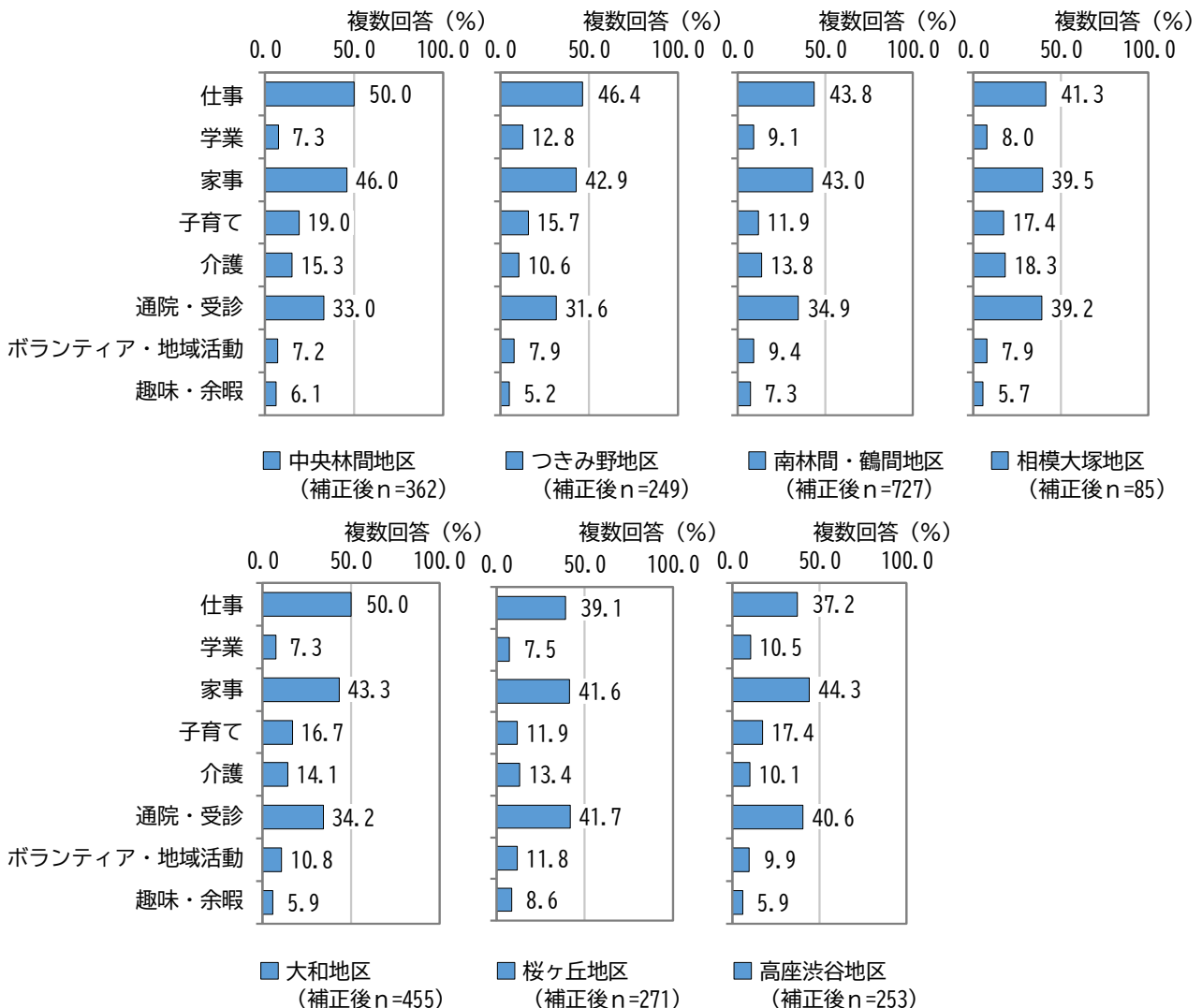
図表 11-2-3 負担になっている行動×年齢（続き）



■ 11-2 (全体) ×居住地区

居住地区別でみると、中央林間地区、大和地区で「仕事」、桜ヶ丘地区、高座渋谷地区で「通院・受診」の割合が高くなっています。

図表 11-2-4 負担になっている行動×居住地区



11-3

悩みを抱えているとき、困ったとき、誰と話すようにしていますか。
あてはまるものを全て選んでください。

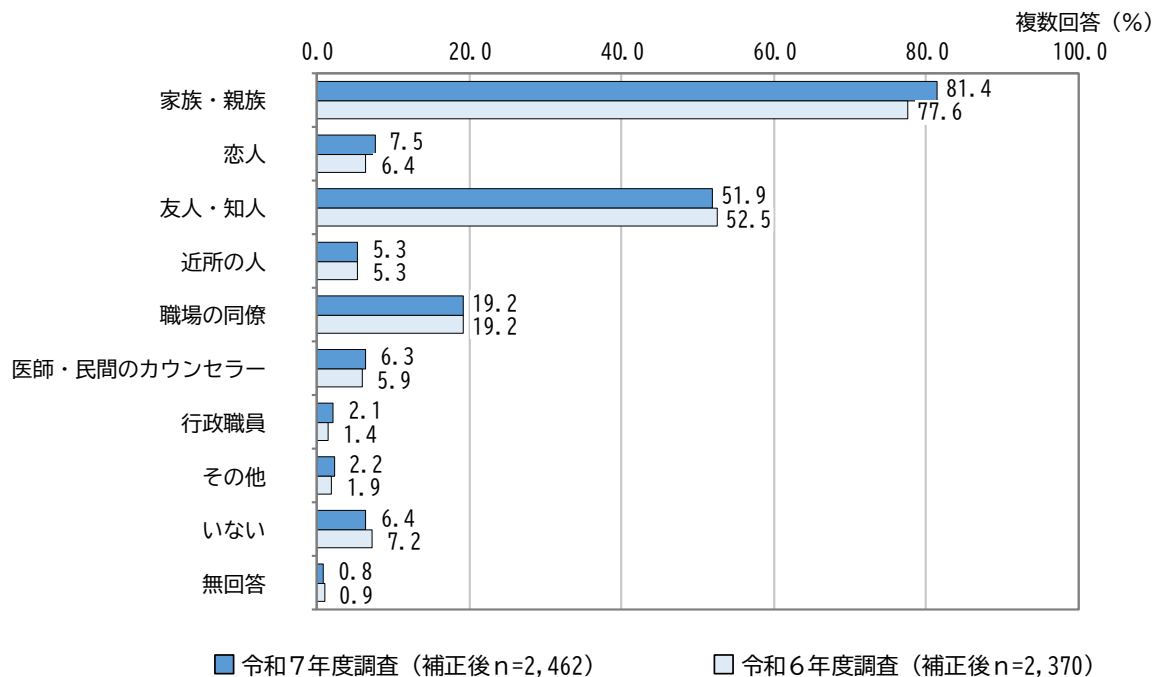
○はいくつでも

悩みを抱えているときや困ったとき、「家族・親族」と話す割合が、約8割と最も高くなっています。

悩みを抱えているときや困ったときに話す相手について、「家族・親族」の割合が81.4%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が51.9%、「職場の同僚」の割合が19.2%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

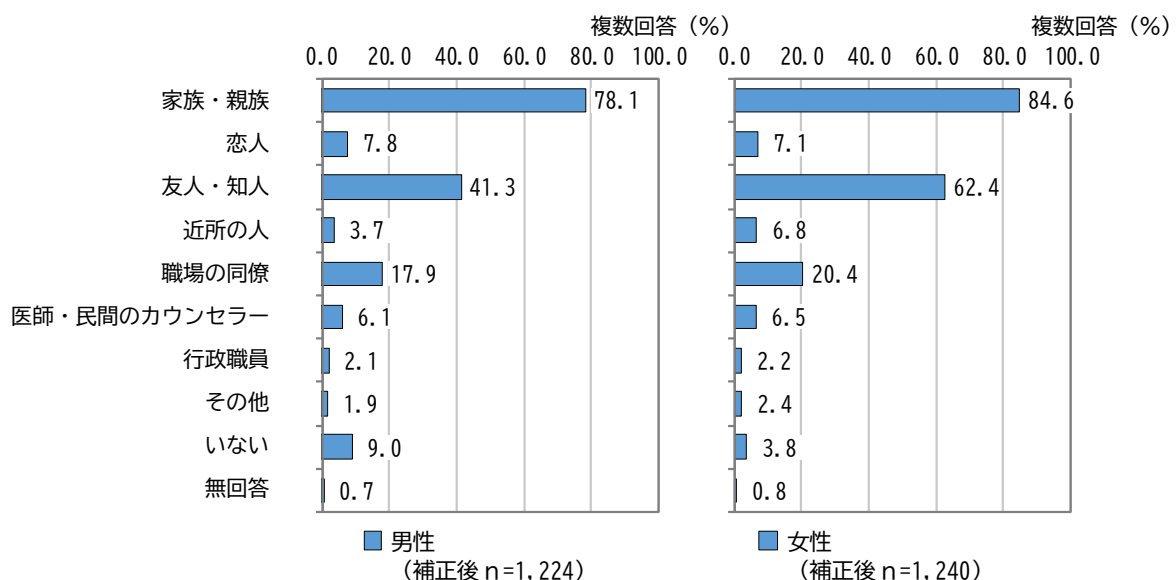
図表 11-3-1 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手



11-3×性別

性別でみると、男性と比較して、女性の方が「家族・親族」「友人・知人」の割合が高くなっています。

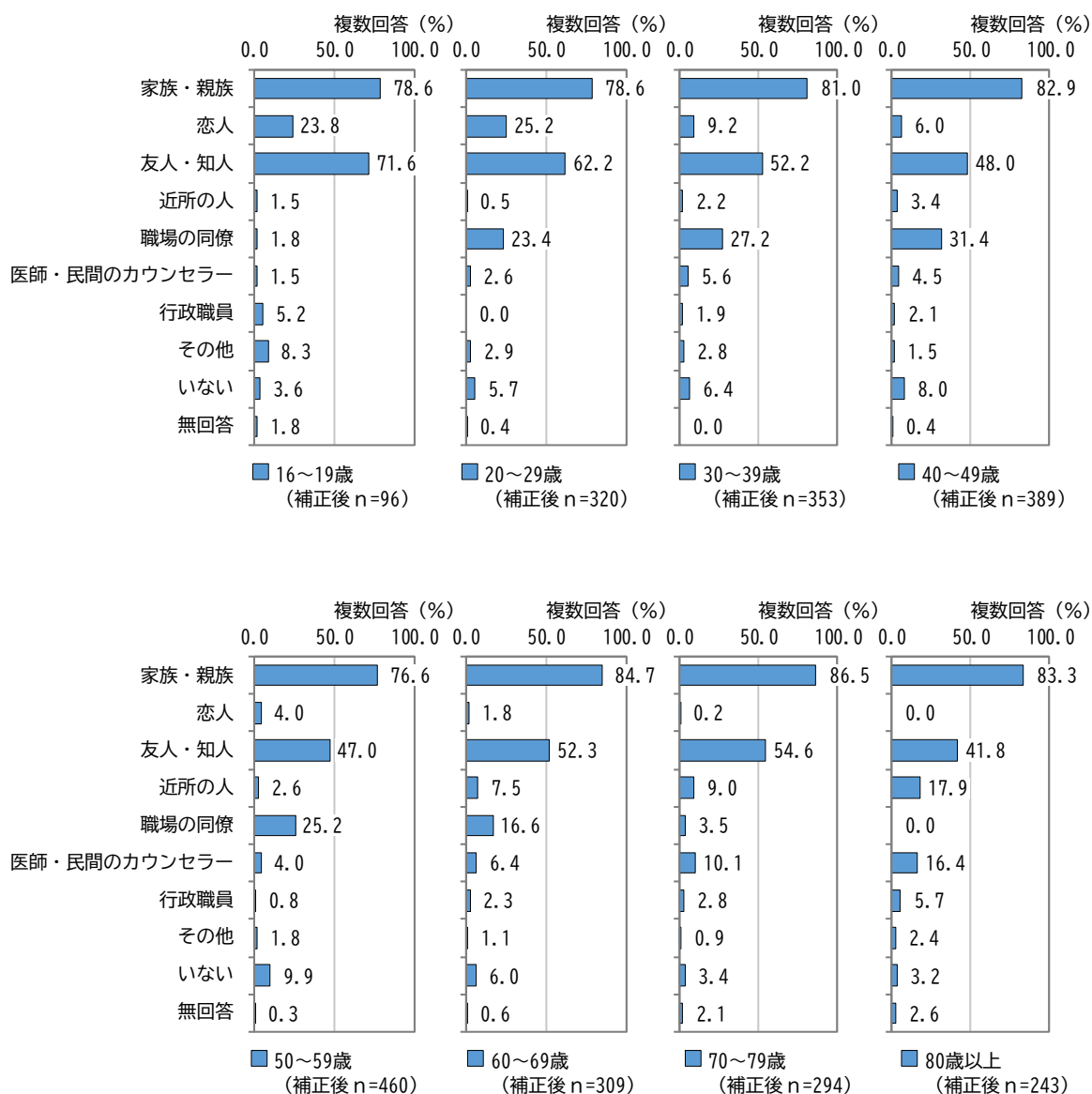
図表 11-3-2 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手×性別



■ 11-3×年齢

年齢別でみると、16～19歳、20～29歳で「友人・知人」、30～59歳で「職場の同僚」、60歳以上で「近所の人」の割合が高くなっています。

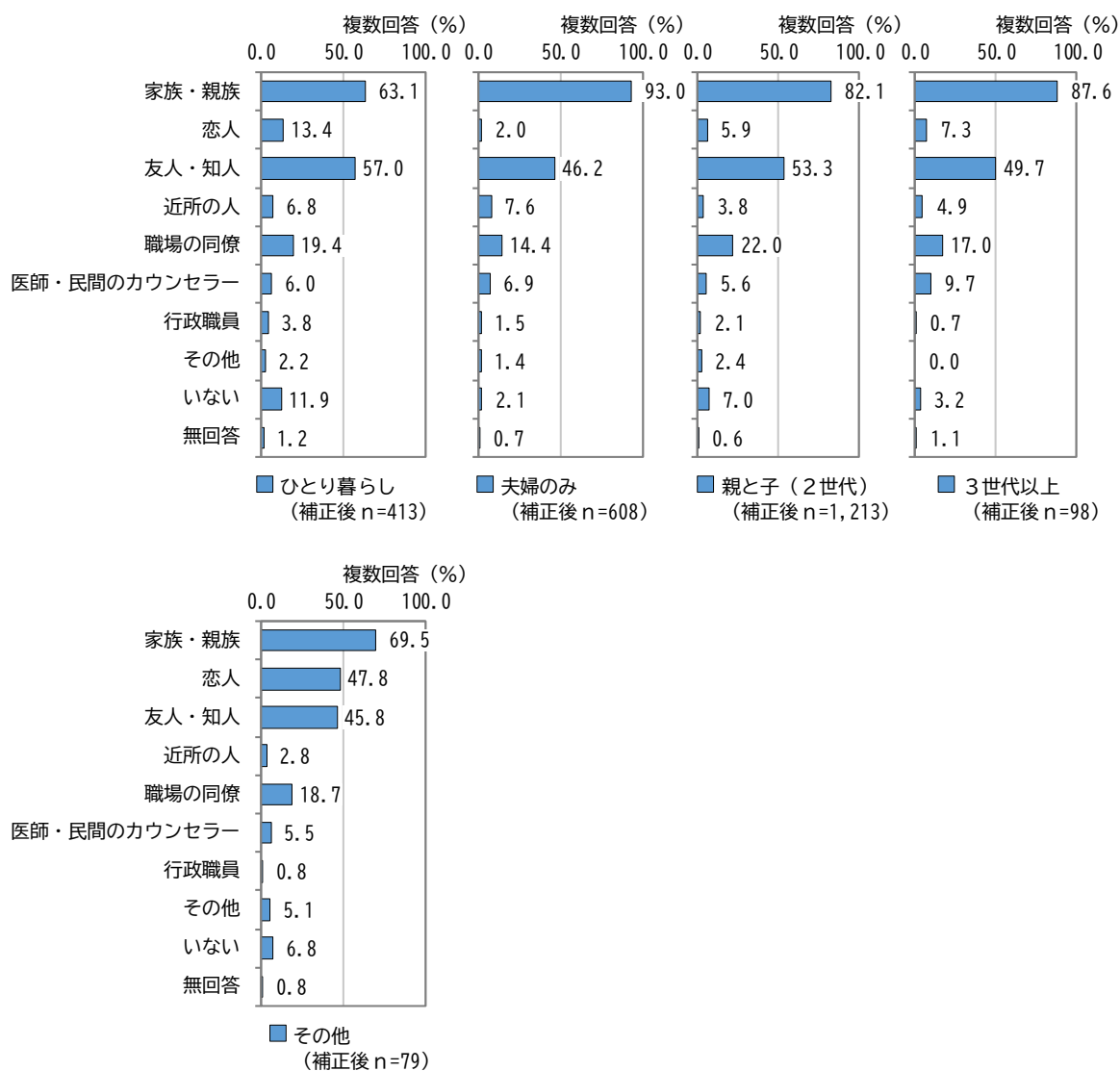
図表 11-3-3 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手×年齢



■ 11-3×家族構成

家族構成別でみると、夫婦のみで「家族・親族」、ひとり暮らしで「恋人」「友人・知人」「いない」の割合が高くなっています。

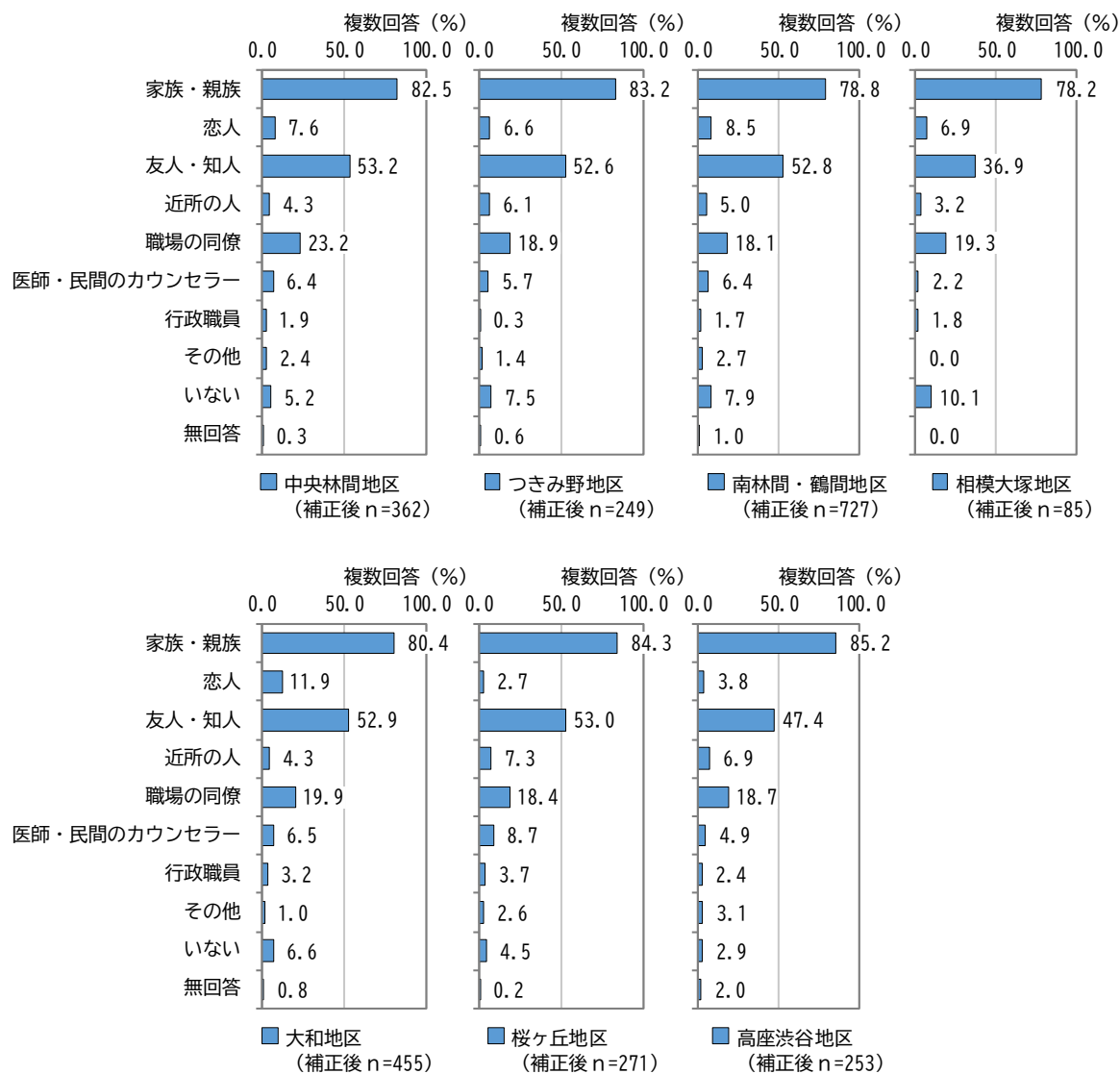
図表 11-3-4 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手×家族構成



■ 11-3×居住地域

居住地域別でみると、大きな差はみられません。

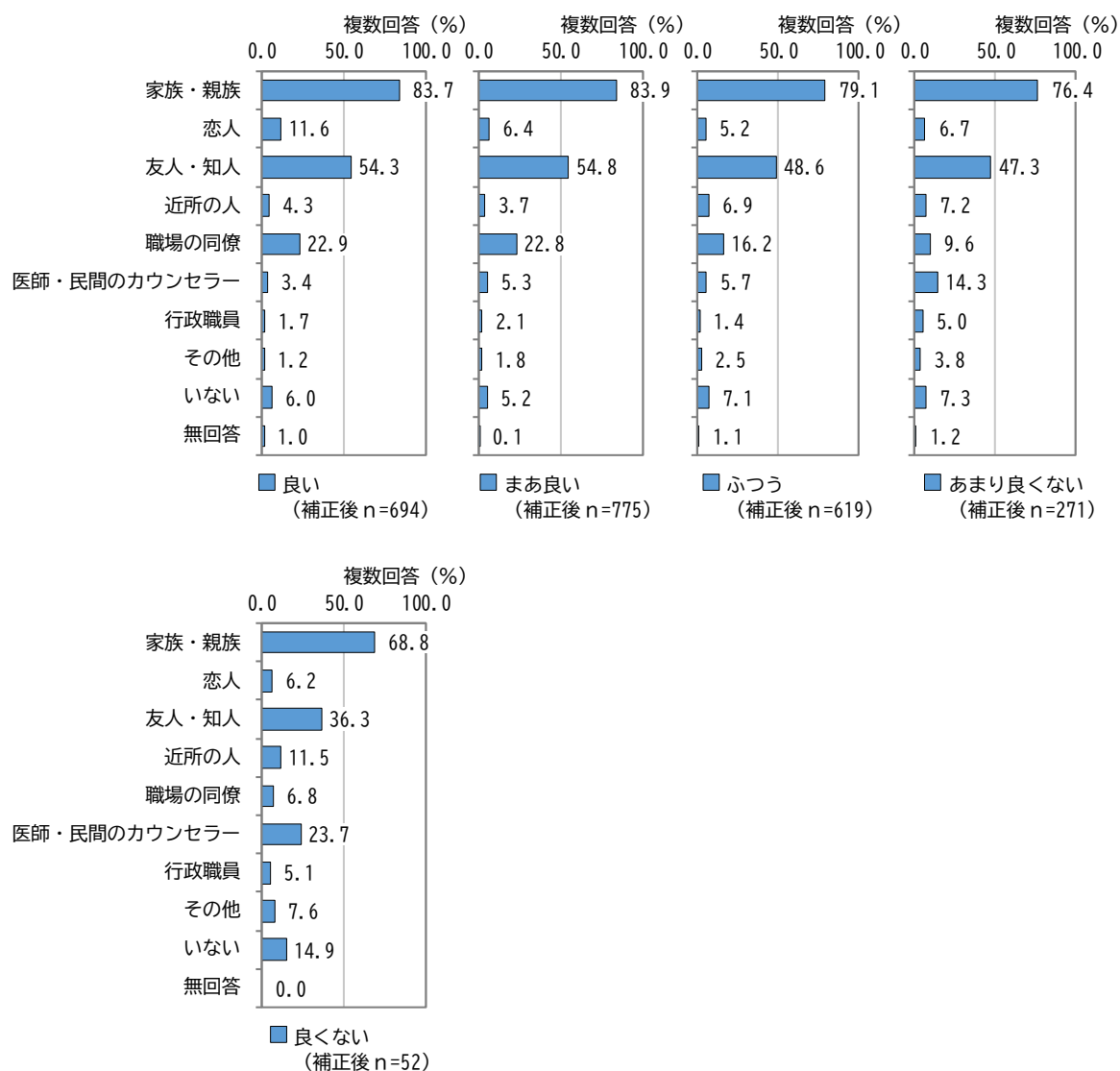
図表 11-3-5 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手×居住地域



■ 11-3×健康状態

健康状態別でみると、健康度が下がるほど「医師・民間のカウンセラー」の割合が高く、「家族・親族」「友人・知人」の割合が低い傾向にあります。

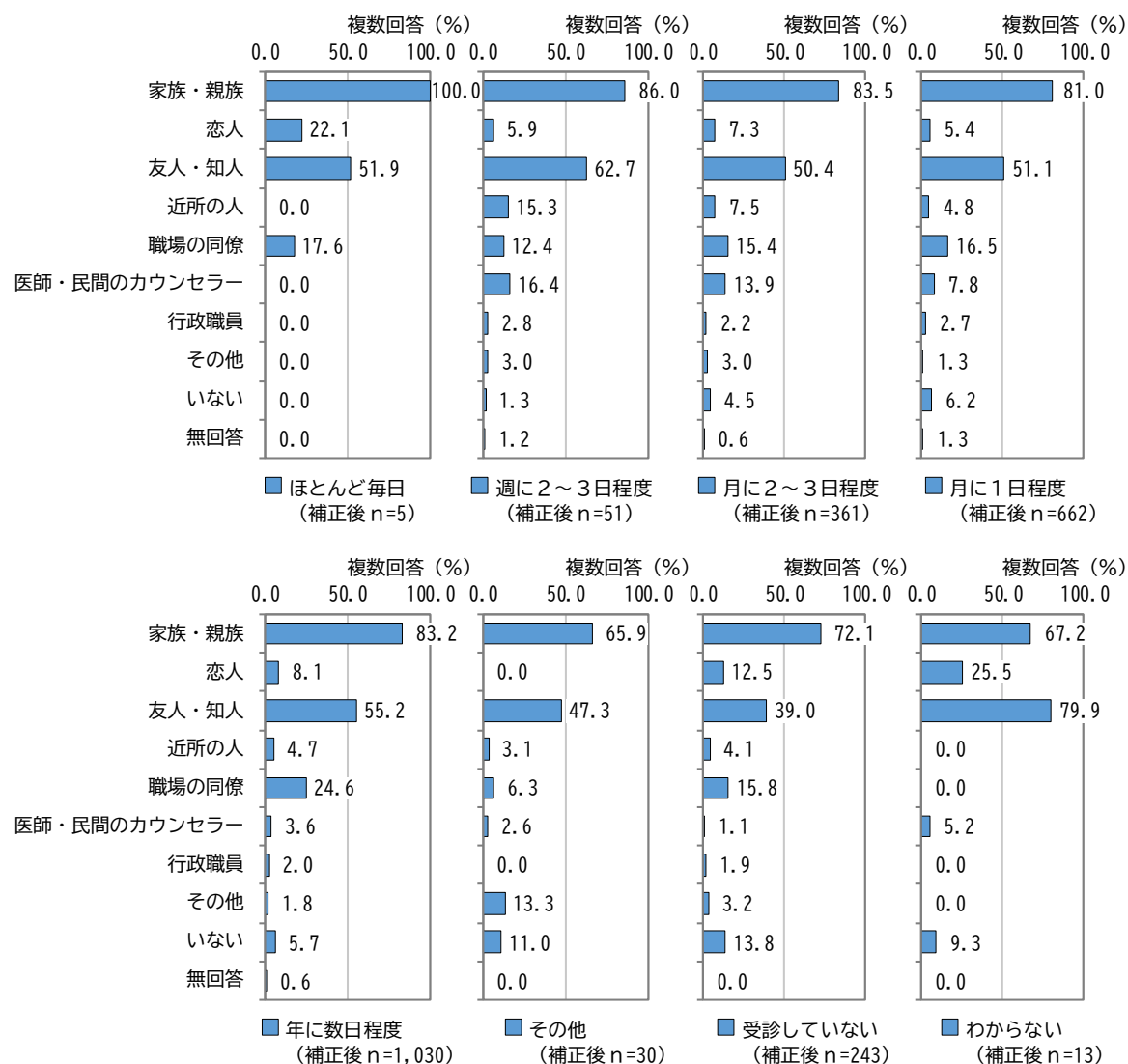
図表 11-3-6 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手×健康状態



■ 11-3×医療機関受診頻度

医療機関受診頻度別でみると、受診頻度が多いほど「家族・親族」の割合が高い傾向にあります。

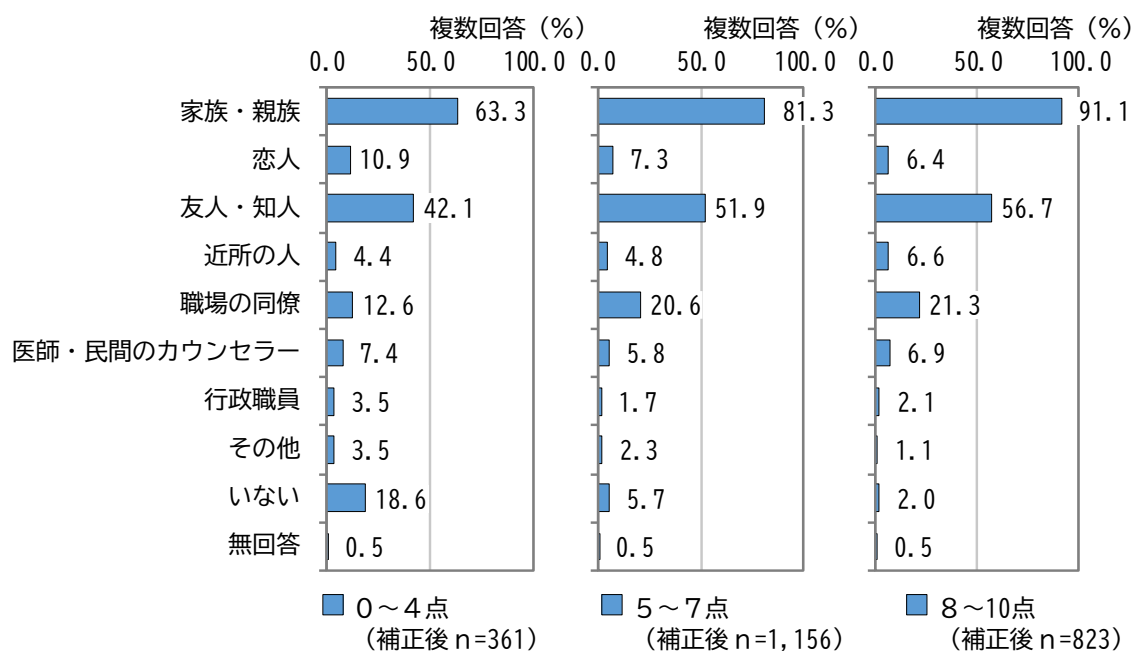
図表 11-3-7 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手×医療機関受診頻度



■ 11-3×幸福度

幸福度別でみると、幸福度が上がるほど「家族・親族」「友人・知人」「職場の同僚」の割合が高く、「いない」の割合が低くなっています。

図表 11-3-8 悩みを抱えているときや困ったときに話す相手×幸福度



11-4

ふだん誰かと食事をしていますか。

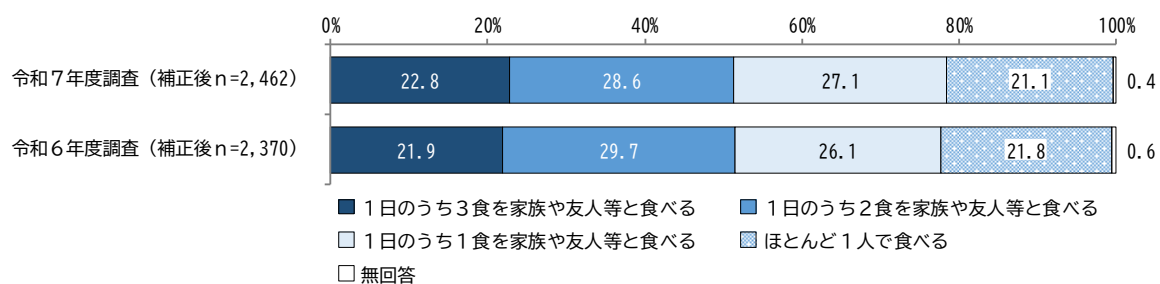
○は1つ

1日のうち1食以上を家族や友人等と食べる割合が、約8割となっています。

ふだんの食事について、1日のうち1食以上を家族や友人等と食べる割合が約8割いる一方で、「ほとんど1人で食べる」の割合も、21.1%にのぼっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

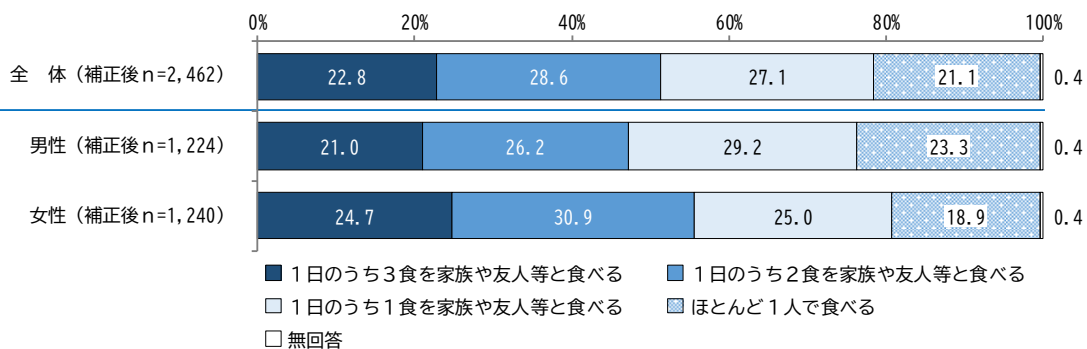
図表 11-4-1 ふだん食事をする相手



11-4 × 性別

性別でみると、大きな差はみられません。

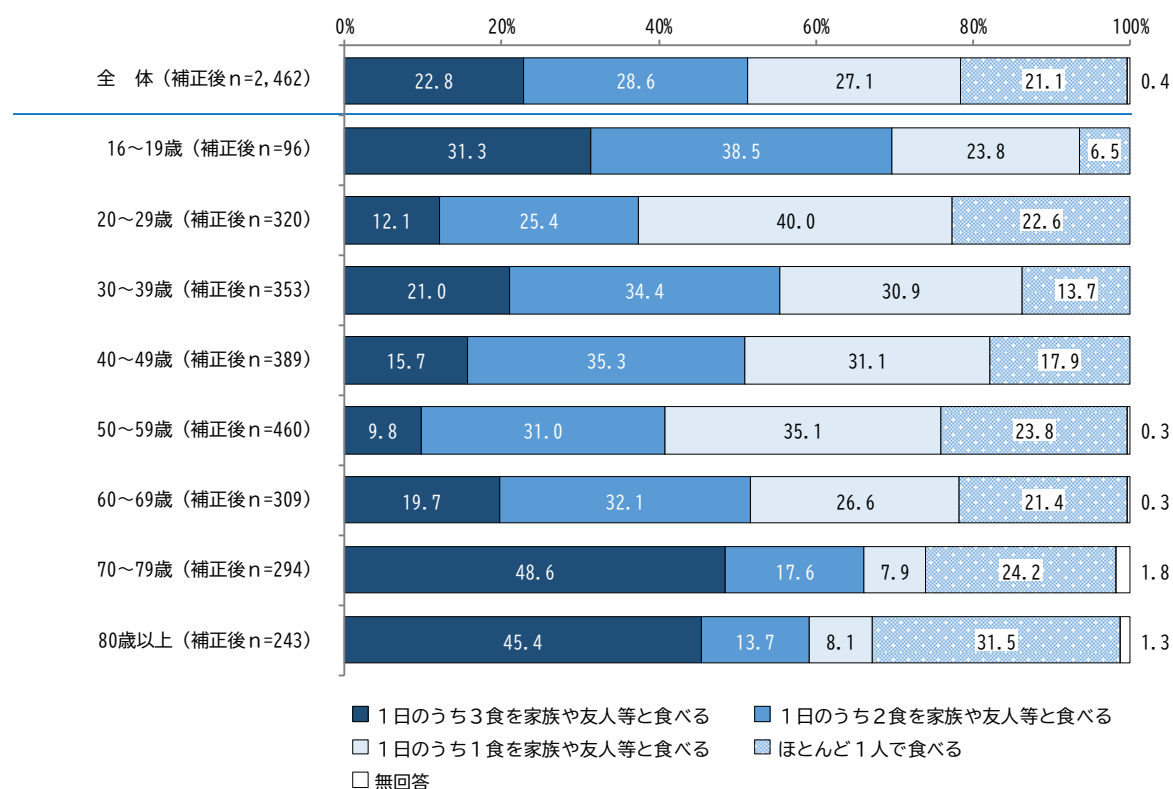
図表 11-4-2 ふだん食事をする相手 × 性別



■ 11-4×年齢

年齢別でみると、70～79歳、80歳以上で「1日のうち3食を家族や友人等と食べる」の割合が高くなっています。一方で、年齢が上がるほど「ほとんど1人で食べる」の割合が高い傾向にあります。

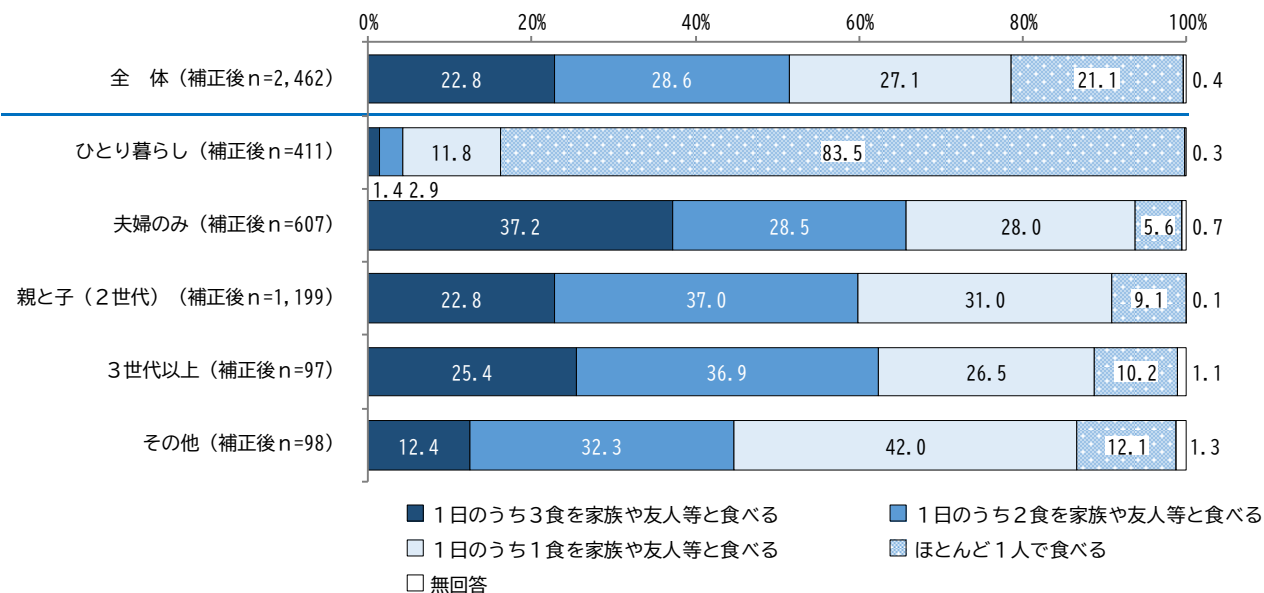
図表 11-4-3 ふだん食事をする相手×年齢



■ 11-4×家族構成

家族構成別でみると、夫婦のみ、親と子（2世代）で“1食以上家族や友人等と食べる”、ひとり暮らしで「ほとんど1人で食べる」の割合が高くなっています。

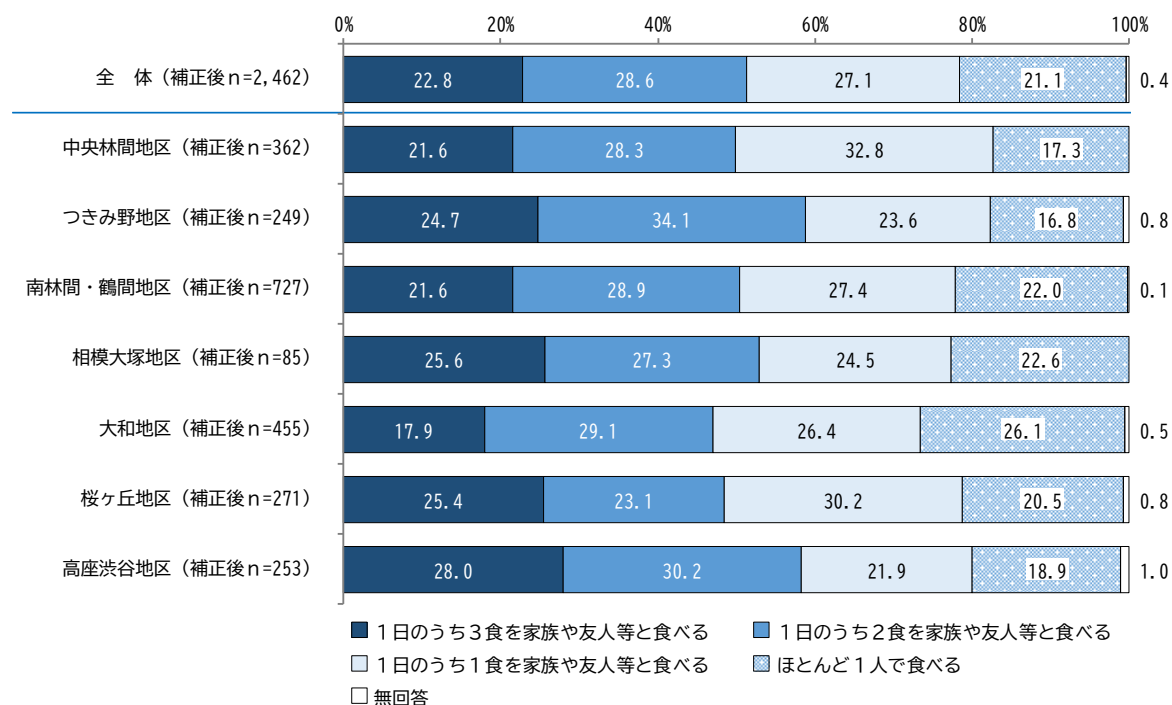
図表 11-4-4 ふだん食事をする相手×家族構成



■ 11-4×居住地域

居住地域別でみると、大和地区で「ほとんど1人で食べる」の割合が高くなっています。

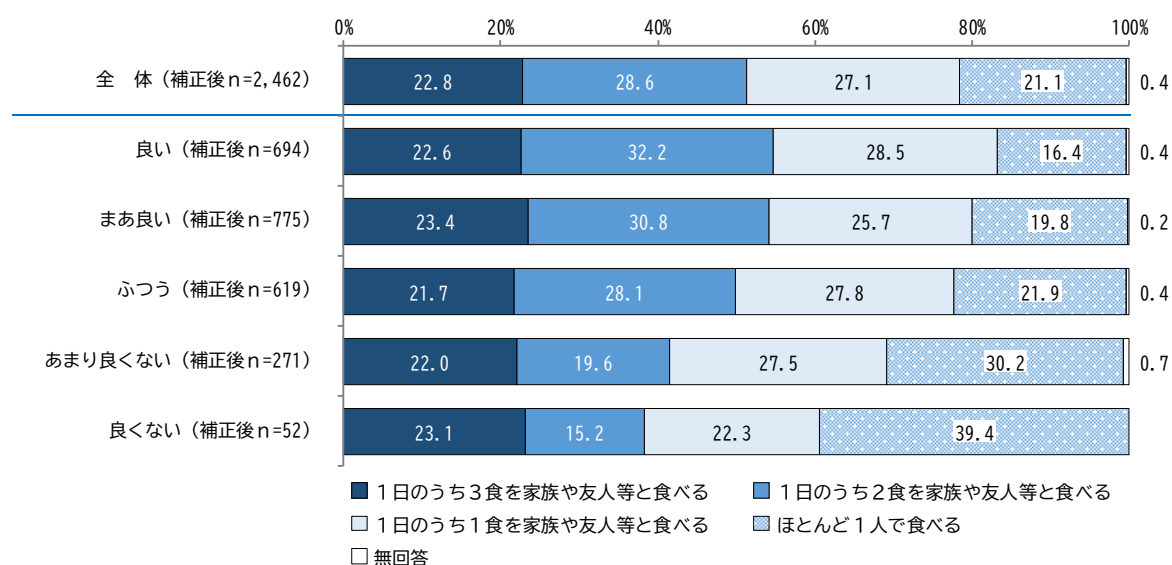
図表 11-4-5 ふだん食事をする相手×居住地域



■ 11-4×健康状態

健康状態別でみると、健康度が下がるほど「ほとんど1人で食べる」の割合が高くなっています。

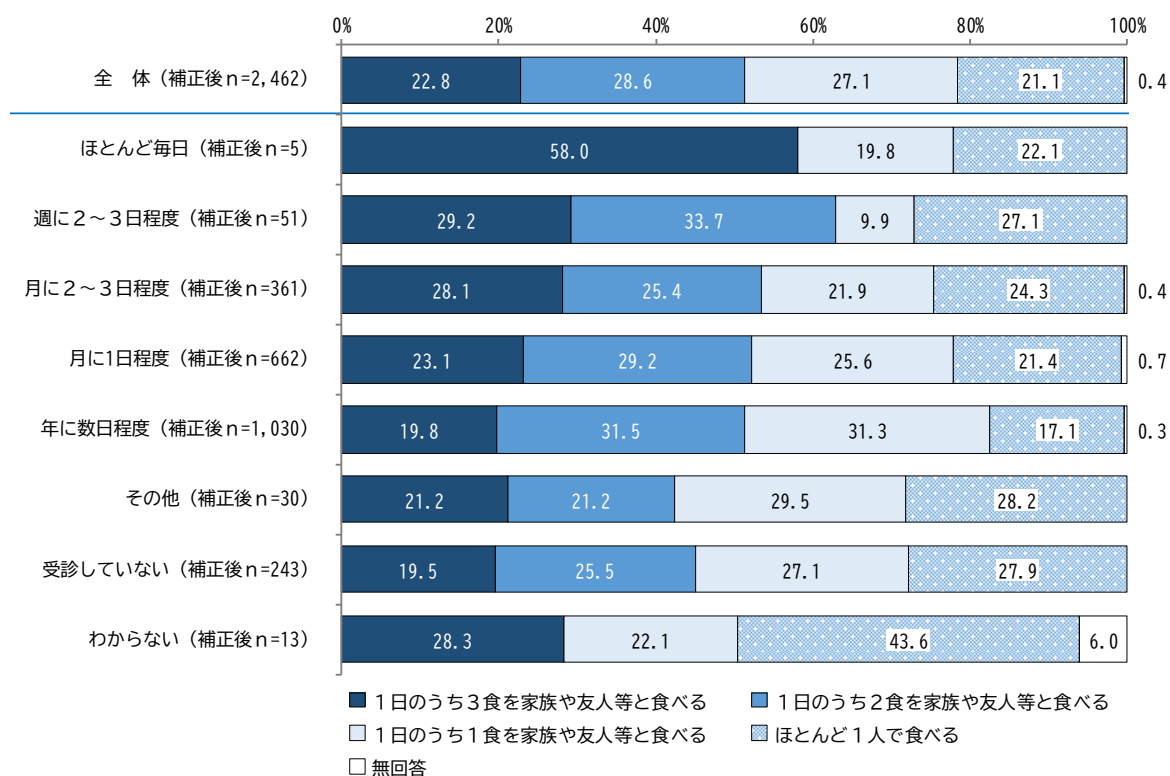
図表 11-4-6 ふだん食事をする相手×健康状態



■ 11-4 × 医療機関受診頻度

医療機関受診頻度別でみると、受診頻度が多いほど「1日のうち3食を家族や友人等と食べる」の割合が高い傾向にあります。

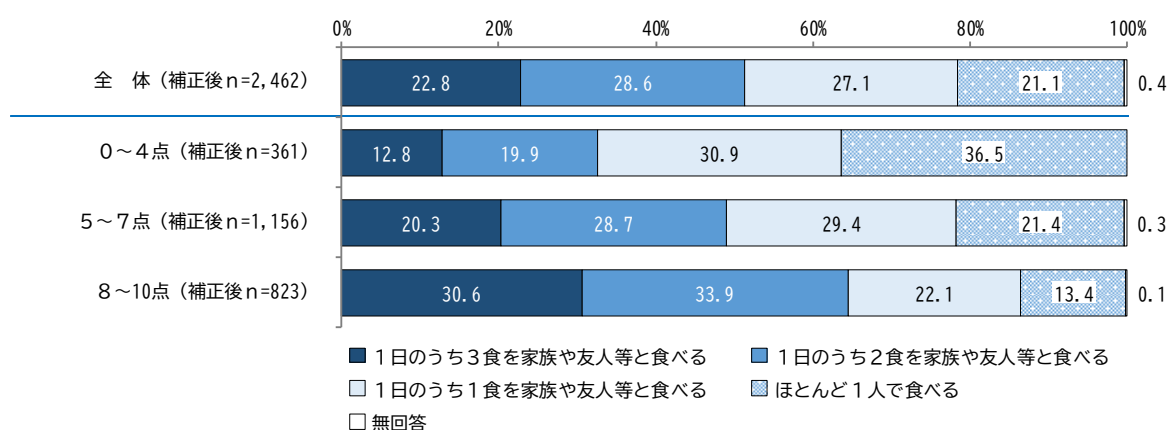
図表 11-4-7 ふだん食事をする相手 × 医療機関受診頻度



■ 11-4 × 幸福度

幸福度別でみると、幸福度が上がるほど“1食以上家族や友人等と食べる”の割合が高くなっています。また、0～4点で「ほとんど1人で食べる」の割合が高く、「1日のうち3食を家族や友人等と食べる」の割合が低くなっています。

図表 11-4-8 ふだん食事をする相手 × 幸福度



11-5	あなたのふだんの外出の状況についてそれぞれあてはまるものを選んでください。	○は1つ
------	---------------------------------------	------

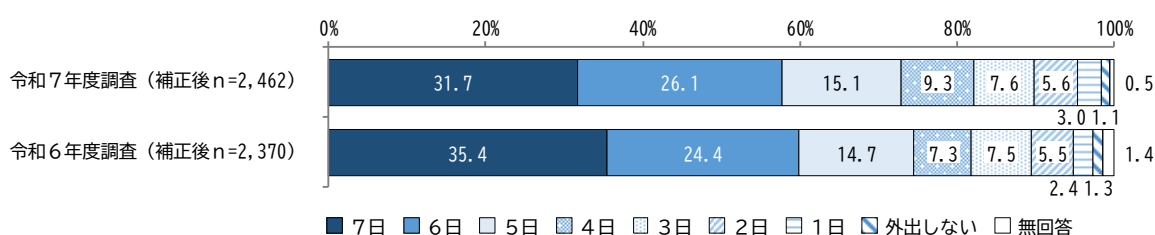
ふだんの1週間あたりに5日以上外出している人は約7割となっています。

① ふだんの1週間の外出頻度

ふだんの1週間の外出頻度について、「7日」の割合が31.7%と最も高く、次いで「6日」の割合が26.1%、「5日」の割合が15.1%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

図表 11-5-1 ふだんの1週間の外出頻度

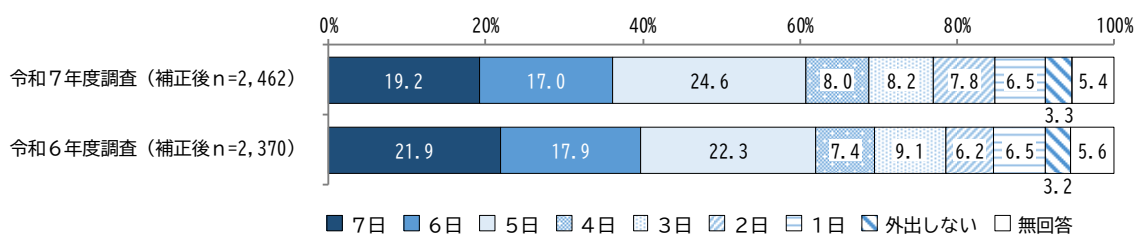


② ①で選択した外出頻度のうち、「仕事、学業、家事（買い物など）、子育て、介護、通院・受診、ボランティア・地域活動」など生活上必要な用事で外出した日数

生活上必要な用事で外出した日数について、「5日」の割合が24.6%と最も高く、次いで「7日」の割合が19.2%、「6日」の割合が17.0%となっています。

令和6年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

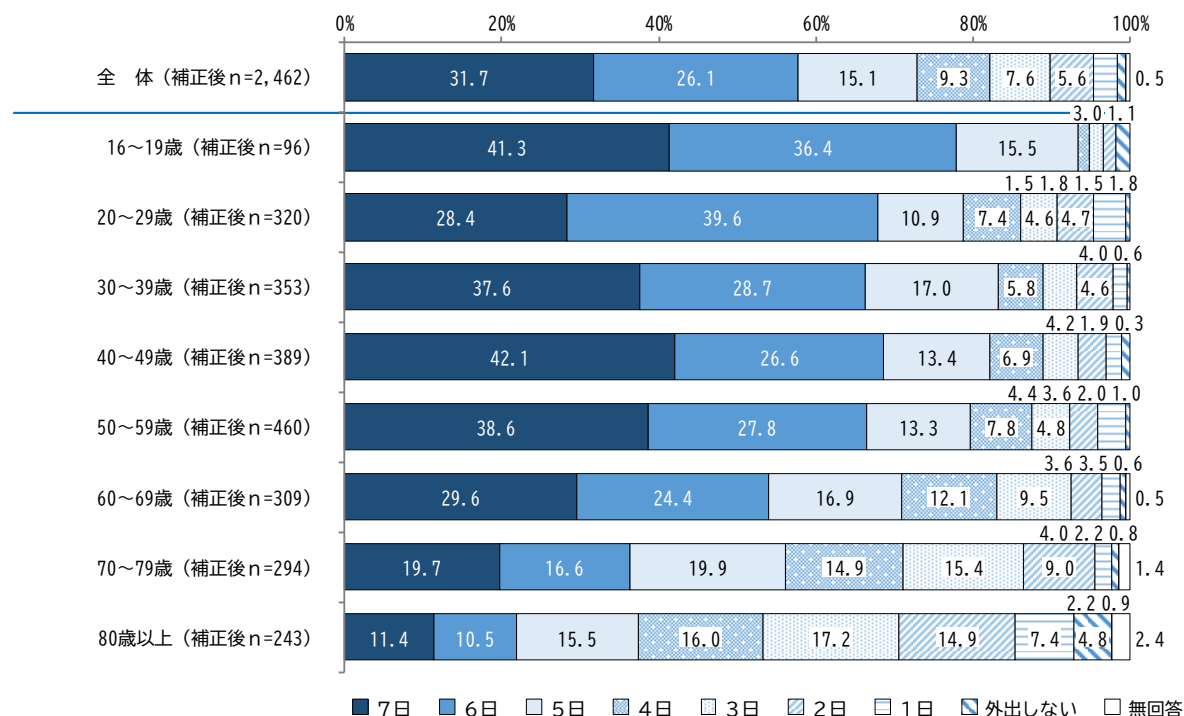
図表 11-5-2 生活上必要な用事で外出した日数



■ 11-5①×年齢

年齢別でみると、年齢が下がるほど“5日以上”の割合が高い傾向にあります。

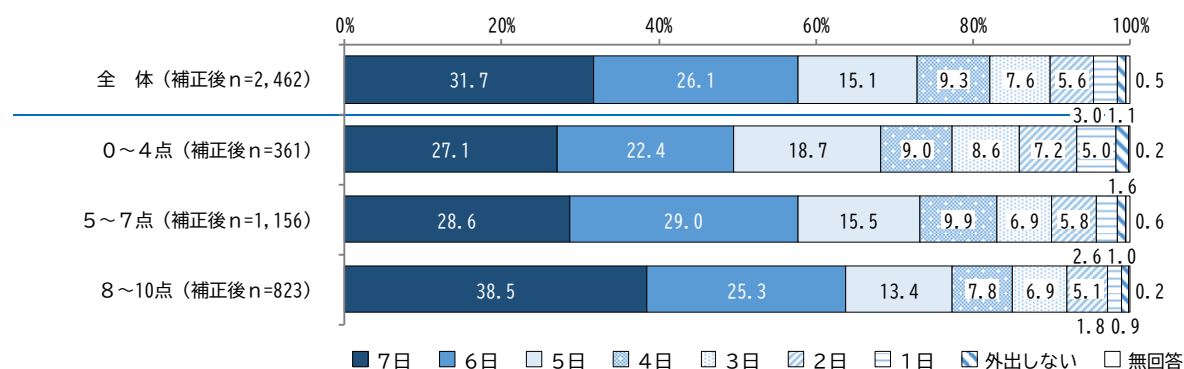
図表 11-5-3 ふだんの1週間の外出頻度×年齢



■ 11-5①×幸福度

幸福度別でみると、幸福度が上がるほど“5日以上”の割合が高くなっています。

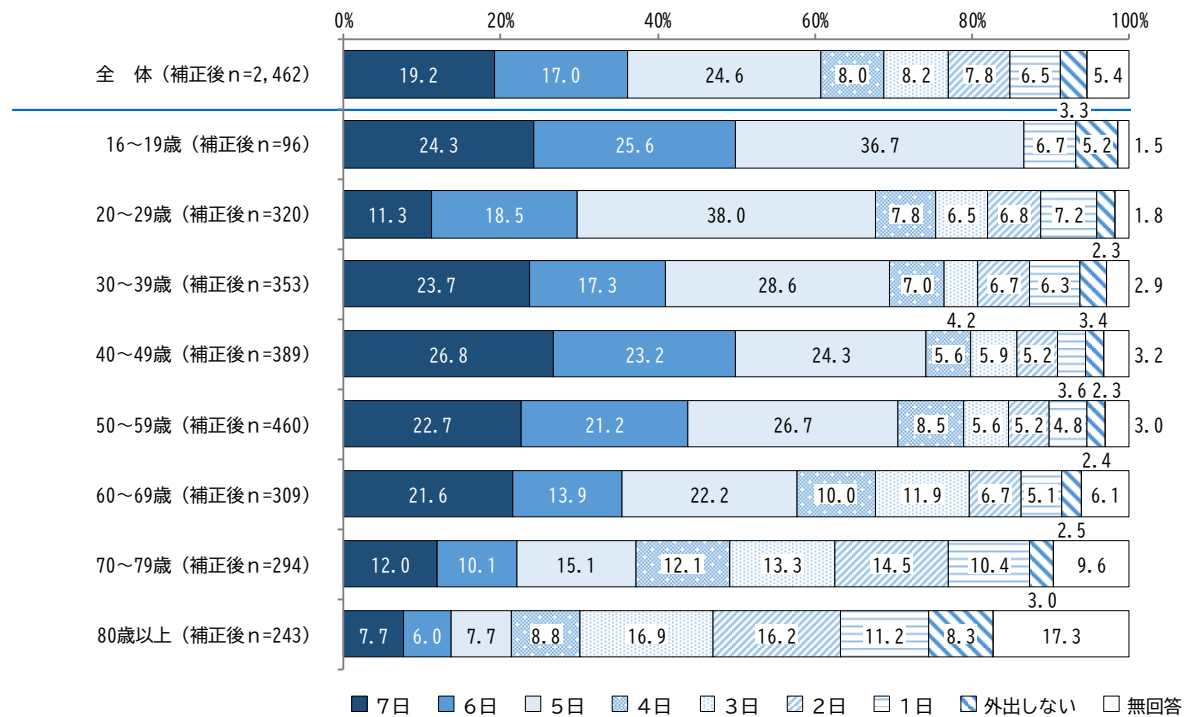
図表 11-5-4 ふだんの1週間の外出頻度×幸福度



■ 11-5②×年齢

年齢別でみると、70～79歳、80歳以上で“5日以上”の割合が低くなっています。

図表 11-5-5 生活上必要な用事で外出した日数×年齢



■ 11-5②×幸福度

幸福度別でみると、幸福度が上がるほど“5日以上”の割合が高くなっています。

図表 11-5-6 生活上必要な用事で外出した日数×幸福度

